

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の 標準的なカリキュラム案について

目次立て（案）

<はじめに>

I 標準的なカリキュラム案の作成過程

- (1) 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標
- (2) 「生活上の行為」の事例の整理と選択
- (3) 学習項目の要素の記述
- (4) 標準的なカリキュラム案の開発について

II 標準的なカリキュラム案について

- (1) 標準的なカリキュラム案の概要
 - ・【参考資料1】「「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案のたたき台について」【A4 67ページ程度】
- (2) 標準的なカリキュラム案の使い方について
 - ・【資料3】「情報リソース（資源）等について」の(3)「活用例（実践例）」【A4 10ページ程度】
- (3) 想定される利用者

III 今後の課題

・別紙

1 基礎的資料

- ・【参考資料3】「「生活上の行為」の分類一覧」【A4 1ページ】
- ・【参考資料4】「「生活上の行為」の事例の整理」【A4 30ページ程度】

2 情報リソース（資源）

- ・【資料3】「情報リソース（資源）等について」の「(1) 教室活動の方法の例一覧」【A4 3ページ程度】
- ・【資料3】「情報リソース（資源）等について」の「(2) 教室活動を行う際の参考資料リスト」【A4 3ページ程度】